



# 綿密な経営状況のチェックと融資を受けて 英会話教室の増設に成功、 経営の課題も明らかにできました。

## 事業拡張の下支えに

アイランド出身のトム・ブラウンさんは来日から25年。長く勤めた大手英会話学校を辞し、現在地にカフェと英会話教室を開業したのは、2003年のことである。トムさんの明るくユーモラスなキャラクターと、妻・光未さんの経営手腕によって英会話教室は徐々に拡大。2012年までに洛北地域に3教室を構えるまでになった。さらに4つめの教室をと検討している時に、知人から京都商工大会議所の経営



洛北支部経営支援員

奈良 顕一

BROWNS ENGLISH

トム・ブラウン  
ブラウン 光未

## BROWNS ENGLISH

京都市左京区高野泉町1-23 toms Burger Bar 2F(高野校)  
TEL 075-703-3711 Web <http://www.tomskyoto.com/school/>  
事業内容 / 英会話教室・カフェ  
岩倉八幡前校、修学院校、岩倉南校もあり。

支援を勧められたという。「京商さんは知っていても、私たちのような小規模事業の支援をしてくださると思わず、敷居が高いイメージでした。それだけに、おそろおそろ持ちかけた相談にとても親身になってくださったことに感激しました」と光未さんが語る。

## 親身な相談を通じて 新教室をオープン

「ナラは天才!」と思ったね。ルービックキューブの面をあっという間に

に揃えるんだもの(笑)と流暢な日本語で負けずに感激(?)を語るトムさん、実は以前に奈良支援員も同じ英会話学校に通っていたことがわかり、親近感が一気にアップ。英語に抵抗のない奈良支援員ゆえ、よりスムーズなコミュニケーションが可能なのも安心感につながった。

希望したマル経資金融資の相談では、「経営数値の細かいところまで確認され、これまでいかに感覚で経営してきたかを反省しました」と光未さんが語るように、経営支援員の視点が経営の見直しにも役立った。結果、相談から2カ月後の今年4月、新教室のオープンに至った。

## 安定成長に向けて

地域に密着し、アットホームな雰囲気、きめ細かい経営をされているのが強み。「今後はさらに経営安定のためのご支援ができればと思っています」と奈良支援員が語れば、「今はデフレと言われるけれど、小資本でビジネスが起せる時代。我々のような小規模事業者にとってはチャンスでもある。ナラのサポートで経営を伸ばしたい」とトムさんも意欲的。「京都が大好き。妻とも出逢った場所だしネ」と、この地で培ったネットワークを生かし、地域に根ざした展開を目指す。

### 担当支援員



私が担当いたしました/  
京都商工会議所  
中小企業経営支援センター  
洛北支部  
経営支援員  
奈良 顕一

## 異文化コミュニケーションも楽しく。

日頃は、洛北支部エリアを担当する経営支援員として、中小企業診断士試験や販売士検定などの講師経験を生かしてご相談に来られる方のお役に立てるよう力を尽くしています。事業所の計数管理や事業計画策定の必要性をわかりやすく伝えることも大切な仕事だと考えています。

洛北支部のエリアは、外国の事業者の方も多くいらっしゃると思っています。日本のビジネスとの違いを意識することはありませんが、あえて言うなら総じて「ポジティブ」。前向きにこの困難な時代を乗り切る姿に元気をいただくことも多く、ブラウンさんとはこれからもフラクなお付き合いを、と思っています。